

路地百選推薦書

推薦者氏名：高橋康太郎

推薦する路地（のまち）の名称	土橋市場
所在地	福岡県八女市本町 土橋八幡宮境内

【推薦する理由（路地のよいところ）】

参道を歩き、楼門をくぐると、そこは別世界です。

そう広くない境内に、一間から一間半程の路地が縦横に走り、上にはタキロン屋根の木造アーケード。路地の両側には飲み屋の看板がところ狭しと張り出しています。外観では分かりませんが、大正9年に造られた大きな石灯籠を取り囲むように建てられた家もあり（2階の居間から見えます）終戦直後の混沌を感じさせます。

戦後の闇市がそのまま路地として残っているところは多いのですが、お宮の境内にそれがあるのは珍しいのではないのでしょうか。

【写真添付】



路地	面積	約200㎡	路地の延長	約?m
路地のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	終戦直後から八女地域の中心である旧福島町内の土橋地区に露店が出るようになり、大変混雑していた。その状況を見かねた当時の県議（福島劇場オーナー）が、八幡宮の境内で営業できるよう、八幡宮の宮総代と交渉し、そのうちの福島出身の引揚者が八幡宮境内に移り、直後に建物が建設された。当時は2坪で1店舗、約70店舗が営業しており、人を掻き分けて通らなくてはならないほどの人出だった。また、昼間は、土橋八幡宮付近で遊ぶ子供たちが多く、市場内にあった駄菓子屋は、多くの土橋近郊に育った人達の記憶に残っている。 昭和40年前後からは、居酒屋やバー、スナックといった店が軒を連ね、夜の繁華街としても賑わっていた。 現在は、25店舗あるが、閉店、休業している店舗が多い。		

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。